
令和6年度Webカンファレンス 中小企業共通EDIと会計システムとの連携について

2025年1月24日

三分一 信之

(一社)XBRL Japan 顧問

ISO/TC 295 監査データサービス 日本工業標準調査会(JISC)日本代表

ISO/TC 295 SG1 セマンティックモデル コンビナー

ISO/WD 21926 監査データサービスのための意味的データモデル 共同プロジェクトリーダー

ISO/TC 295 リエゾンA XBRL International 代表

元東京大学情報学環特任教授

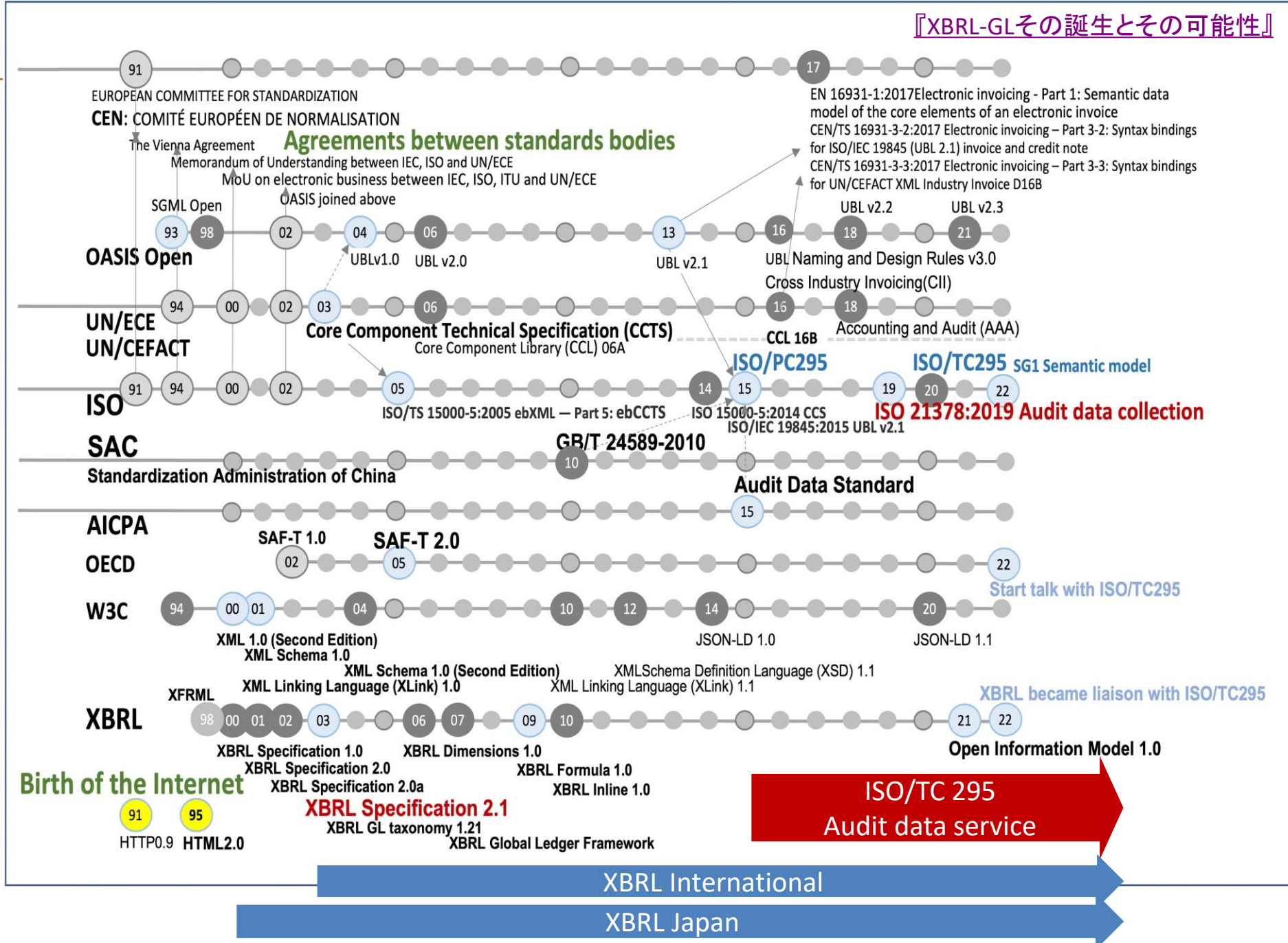
三分一技術士事務所代表

自己紹介

21世紀初頭、XBRL Japanの創立メンバー企業の研究開発センタ長でした。2002年には、民間企業におけるXBRL GLを利用した連結決算のための自動仕分けシステムの開発を行い、2003年からXBRL GL Working GroupのChairとして、XBRL Global Ledger Taxonomy Frameworkの開発を主導してきました。

2015年から、ISO TC295 監査データサービスにJISC 日本産業標準調査会を代表して参加しています。

2022年からは、TC295の研究部会のコンビーナを務めており、現在制定中のISO 21926監査データサービスのためのセマンチックデータモデルの共同プロジェクトリーダーとして標準仕様制定を推進しています。



背景

中小企業の負担軽減

DX推進による利便性向上

商取引と金融決済サービスの連携範囲の拡大

施策

データの標準化と変換プロセスの強化

会計情報の出力先

データ連携基盤におけるセキュリティサービスの必要性

内部報告向けXBRLの活用

今後

新しい課題と将来的な展望

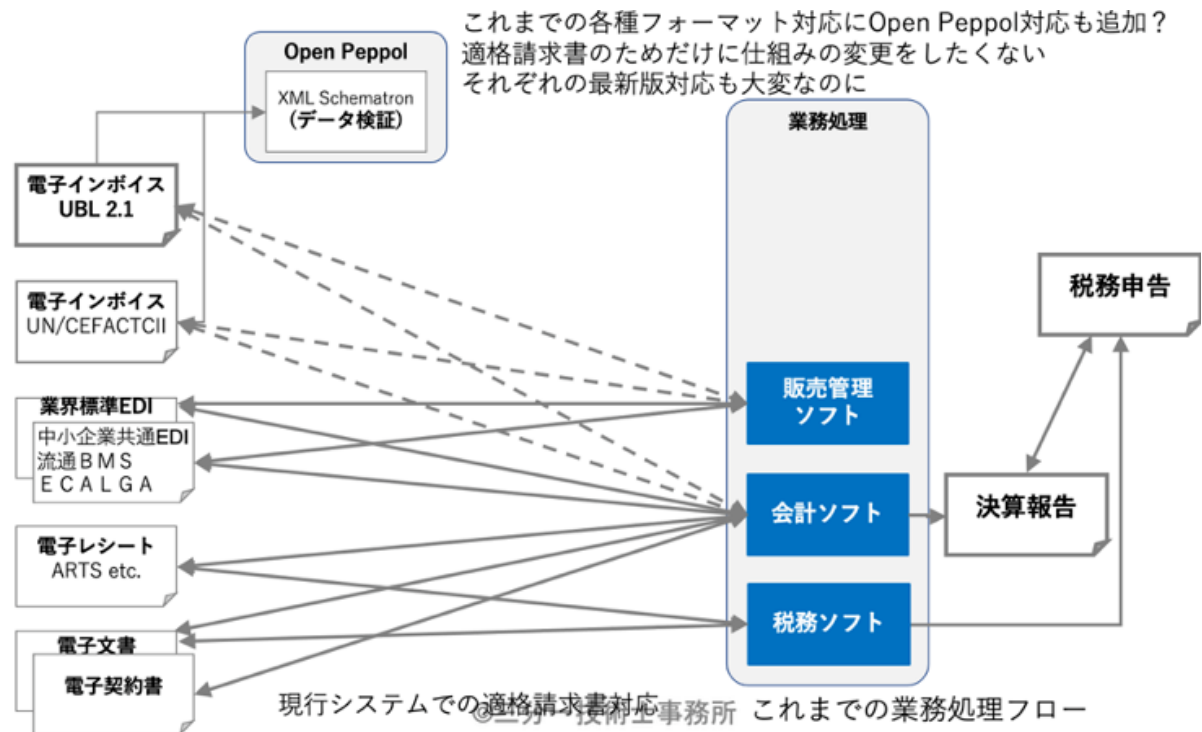
背景

中小企業の負担軽減
DX推進による利便性向上
商取引と金融決済サービスの連携範囲の拡大

中小企業の負担軽減

中小企業は、取引先ごとに異なるEDIシステムへの対応を求められる現状があります。

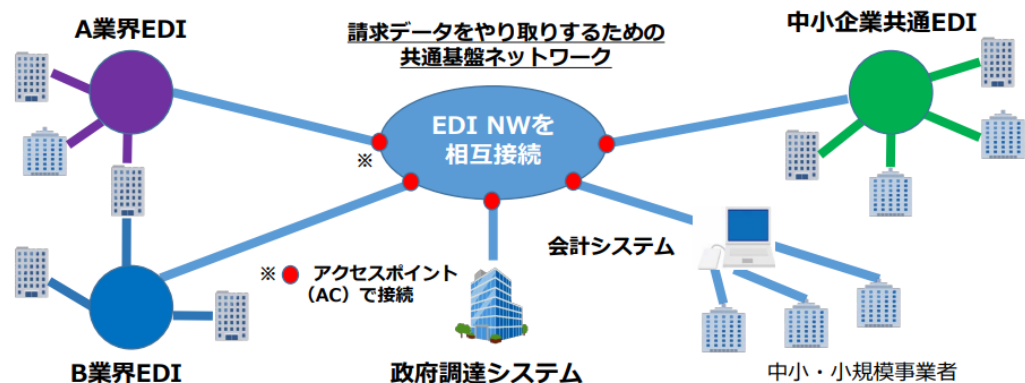
統一規格を導入することで、個別対応の必要性がなくなり、業務負担を軽減できます。



民間ベンダによる電子インボイスの仕様標準化に向けた取組③

- 目指すべき「電子インボイスの標準仕様」は、中小・小規模事業者の方が負担のない快適なUI/UXで、「デジタル化」の恩恵を受けることができるように、
 - ・ 幅広い事業者が、容易に、かつ、低コストで利用できる仕組みであること、
 - ・ 既存の仕組みからの移行が容易であること、
 - ・ グローバルな標準規格をベースとする、などの観点が重要となる。

実現すべきアーキテクチャ（イメージ）



出典：[電子インボイスに係る取組状況について令和2年12月9日内閣官房IT総合戦略室](#)

「電子インボイスとXBRL 2021-07-17追記」(<https://www.sambuichi.jp/?p=4255>)

カテゴリ:eインボイス (<https://www.sambuichi.jp/?cat=45>)

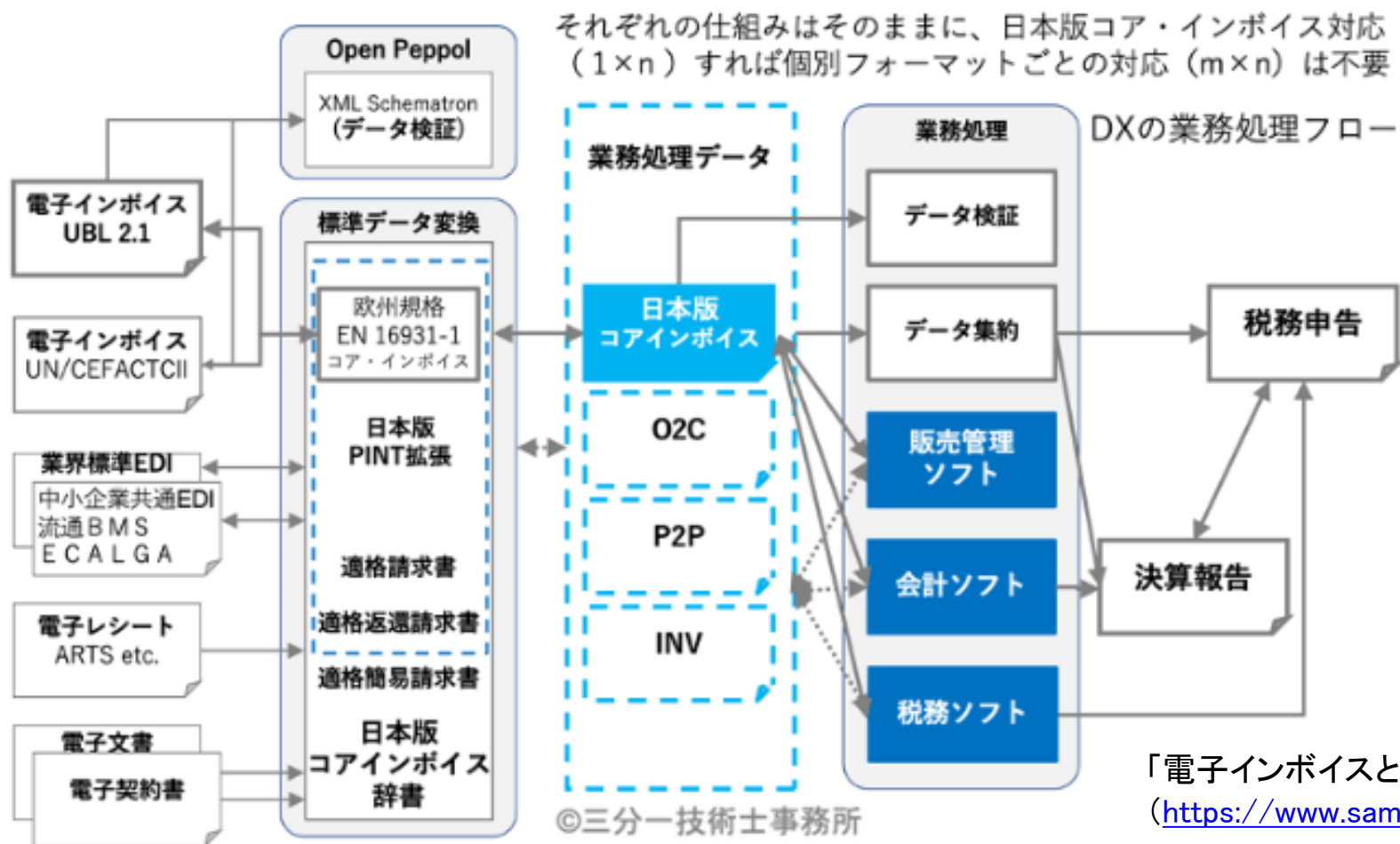


DX推進による利便性向上

DX推進による利便性向上

サイロ化された業務システム、会計ソフト、金融システムを統一規格で連携することで、事業者間取引や決済における課題を解決し、DX(デジタルトランスフォーメーション)を促進します。

これにより、法令対応や債権債務管理に伴う作業の効率化が可能となり、企業全体の競争力向上に寄与します。



「電子インボイスとXBRL 2021-07-17追記」
(<https://www.sambuichi.jp/?p=4255>)

- 多様な取引と決済情報をつなぎ、未来を支えるデータ連携基盤
- 物流情報から多様な金融決済情報まで、受発注や決済通知、インボイスなど、商取引と金融サービスの広範な連携を実現。
- 受発注、出荷案内、検収通知などの物流情報や、公共料金、コーポレートカードの決済通知など、多様な金融決済情報のデータ連携も対象。インボイスにおいては適格請求書に限定せず、適格簡易請求書や適格返還請求書も対象。

施策

データの標準化と変換プロセスの強化
会計情報の出力先
データ連携基盤におけるセキュリティサービスの必要性
内部報告向けXBRLの活用

データの標準化と変換プロセスの強化

商取引および金融決済サービスのデータ連携では、国連標準共通辞書(UNCCL)や国税庁標準勘定科目コードなどの統一規格を活用し、データ項目の一貫性を確保します。また、汎用データ変換処理や構文バイディングデータ変換を用いることで、さまざまなEDI形式や業界標準に柔軟に対応可能とします。

[25] 2023年(令和5年)8月1日(火曜日) 東京税理士界 (第三種郵便物認可) VolumeNo.799

Information System Department **情報通** 2023-August 8月号
発行: 東京税理士会 情報システム部
題字: 神津 信一(四谷)
(税理士会員の日輪と八重桜をイメージしています。)

コインボイスによる中小企業のデジタル化

三分一技術士事務所 所長
ISO TC 295 Audit data services / SG 1 Convener 三分一 信之

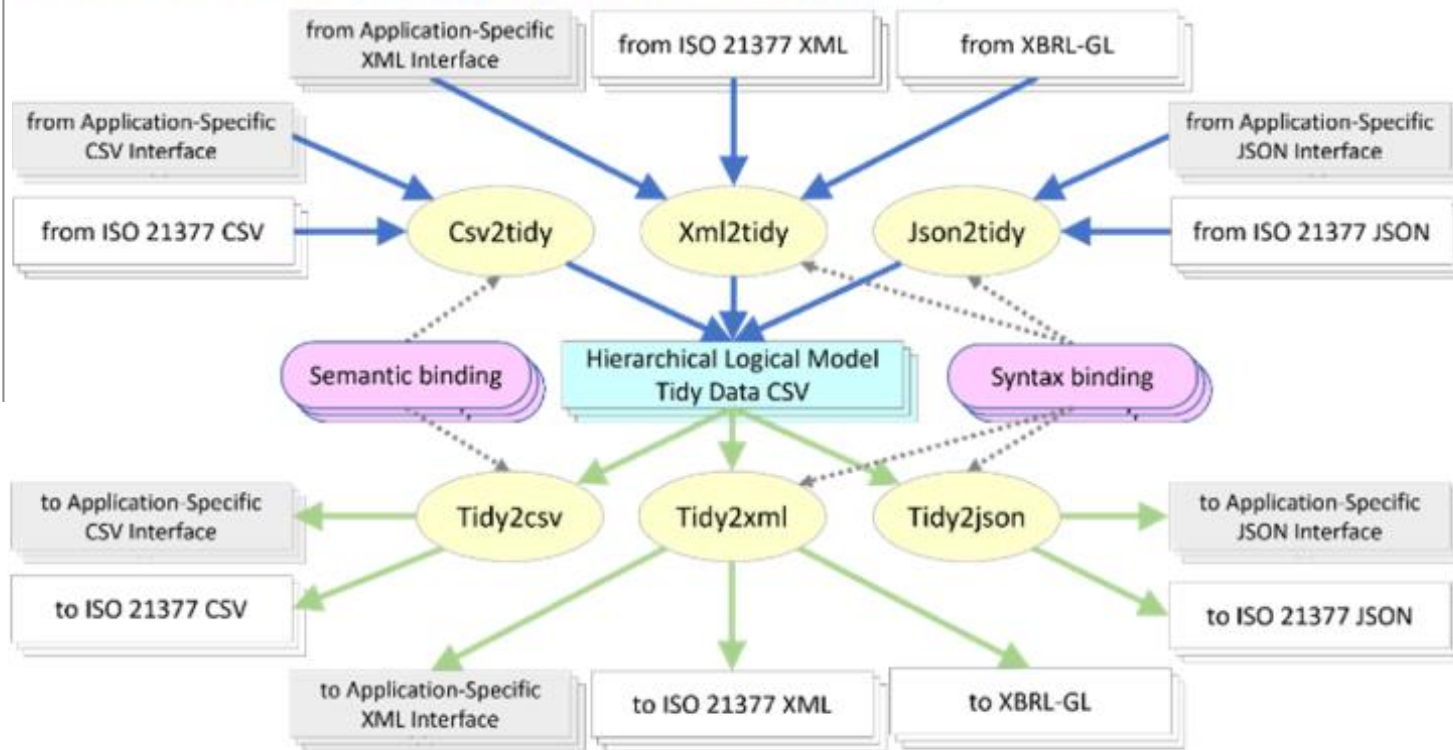
JP PINTは万能薬か
電子請求書の普及により、会計データの標準化や情報共有が進み、税理士や企業の業務効率化が期待されています。これにより、データの一元管理やミスの削減、情報の検索や分析が容易になります。

貨物船コンテナの積み替え作業に例えると
貨物船の輸送におけるコンテナの積み替え作業に例え取り上げながら、コインボイスというシステムについて説明します。

2023年8月 東京税理士界 情報通



汎用監査データ変換器 (Universal Audit Data Converter, UADC)



<https://www.sambuichi.jp/?s=コインボイスゲートウェイ>

汎用監査データ変換器 (Universal Audit Data Converter, UADC)

会計データ収集


> English > 本部/地域会連絡先

[公認会計士とは](#)
[専門情報](#)
[一般企業の方へ](#)

[ホーム](#) > [専門情報](#) > [専門情報一覧](#) > IT委員会研究報告「監査データ標準化に関する留意事項とデータアナリティクスへの適用」(公開草案)の公表

専門情報

IT委員会研究報告「監査データ標準化に関する留意事項とデータアナリティクスへの適用」(公開草案)の公表について

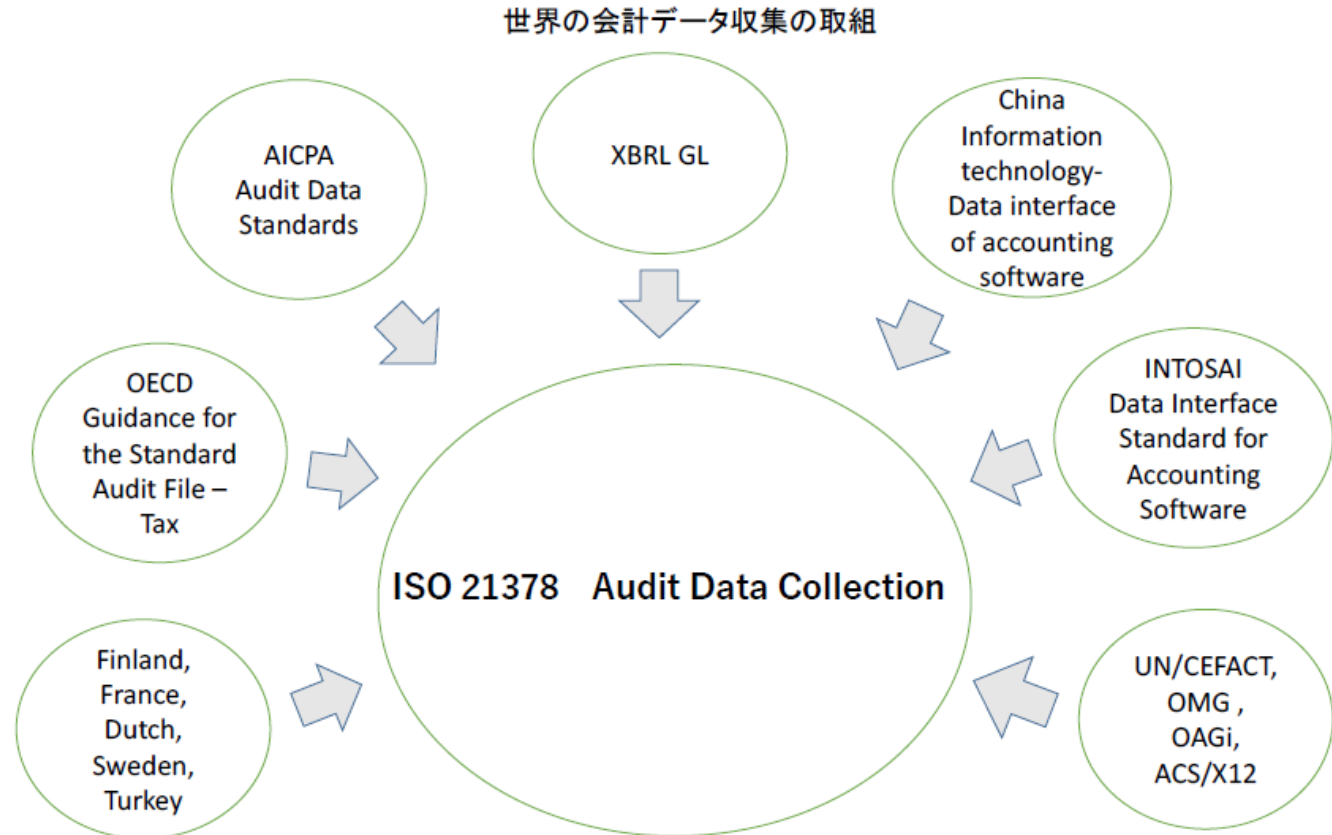
掲載日: 2021年12月17日 | [意見募集期限]: 2022年1月18日

https://jicpa.or.jp/specialized_field/20211217fbi.html

会計データ収集

会計データは、商取引や金融決済サービスだけでなく、経理部門や税理士、会計士向けの監査データ収集(ISO/TC 295監査データサービス)も目的としています。

出典: 日本公認会計士協会 IT委員会研究報告 2021年12月17日「監査データ標準化に関する留意事項とデータアナリティクスへの適用」(公開草案)の公表について





Standards Sectors About ISO

The convenor, Mr Nobuyuki Sambuichi (until end of 2024) can be reached through the secretariat.

ISO/TC 295/SG 1  Semantic Model

ISO/TC 295/WG 1  Audit Data Collection for Non-financial Enterprises

← Technical Committees

ISO/TC 295

Audit data services

ISO/TC 295 - Secretariat

SAC (China)

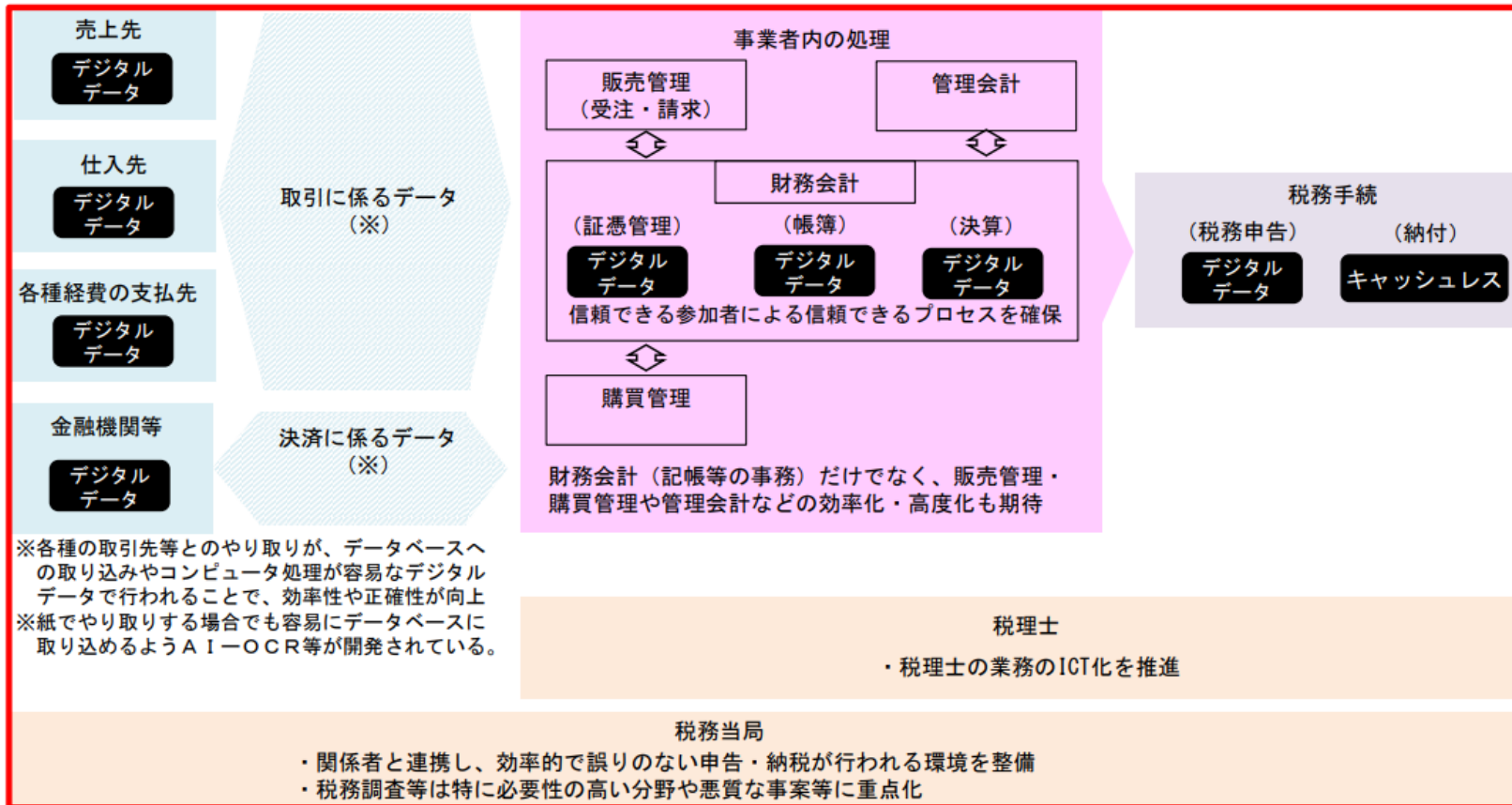
Standardization Administration of China
No. 9 Madian Donglu, Haidian District
Beijing 100088
China

<https://www.iso.org/committee/5648297.html>

社会全体のデジタル化と税務関連情報のデジタル化に係る今後の方向性のイメージ

- 今後の方向性のイメージは、様々な取引先等から受け取った電子データが、事業者のデータベースに取り込まれ、処理も自動化されていくもの。
- この際、電子データの形式が例えば一定のCSVやXML等でその仕様が共通化されている場合等は、異なるシステム間での授受及びコンピュータによる処理が容易となる。こうした電子データを一般的な電子メールやPDF等と区別するため、ここでは前頁までの「電子」に代えて「デジタルデータ」と表記する。
- このような社会全体でのデジタル化により、事業者において、より一層簡便かつ効率的に適正な申告・納税が可能となる。

(注) 下図はイメージとして記載しており、現実には必ずしも全ての取引先との授受がデジタルデータ化されないことが考えられる。



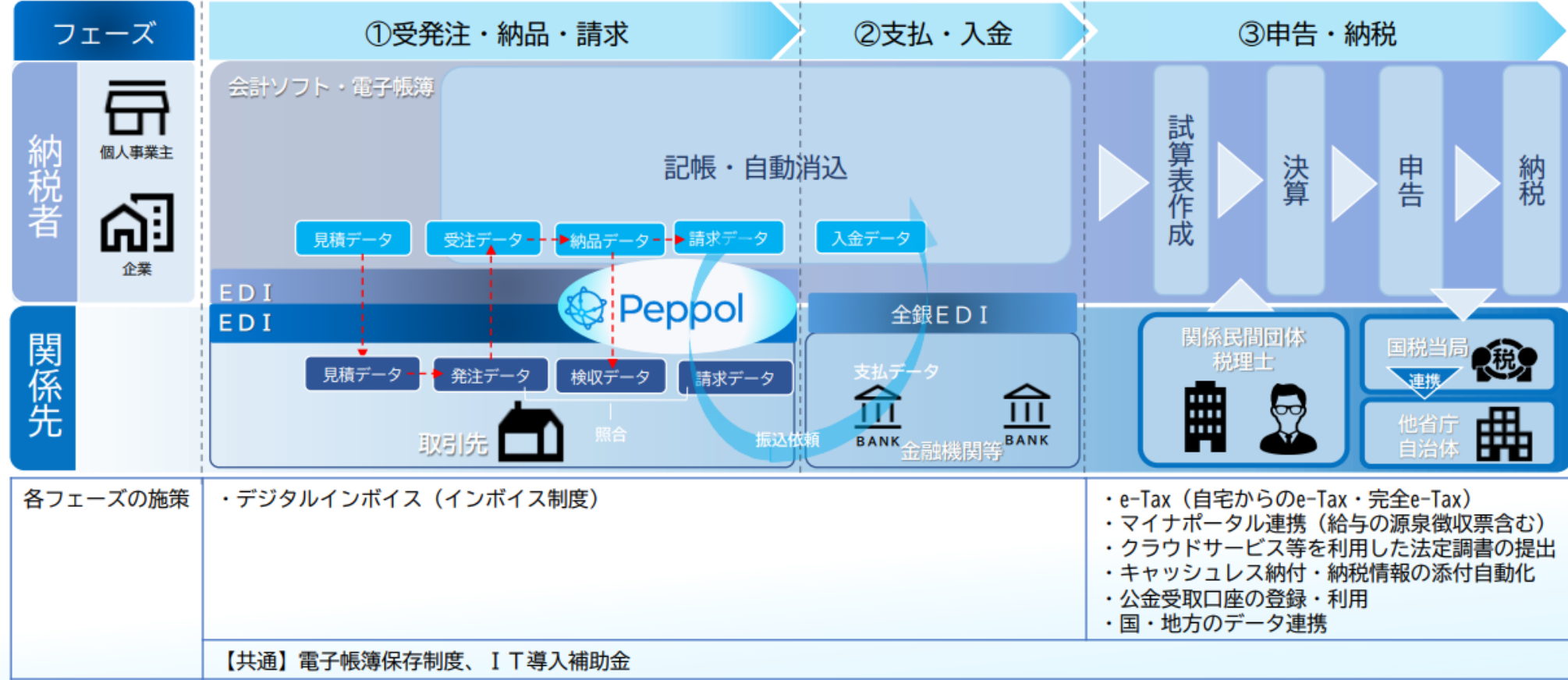
1. デジタル化の推進
 2. コンプライアンスの確保
 3. 具体的なデジタル化の取り組み
 - GビズIDとe-Taxの連携強化、法定調書の電子提出促進。
 - 納税者と税務当局間の手続きの電子化による効率化と利便性向上。
 - セキュアード・チェーン・アプローチの導入。
- 具体例と事例
- 不正申告や偽装・隠蔽による税務問題の事例分析と対策。
 - デジタル化による税務コンプライアンスの向上と負担軽減の方向性。

- 今後の方向性
- 取引情報のデジタル化とその自動処理の重要性。
 - 税務データの学術研究目的での利用促進と個人情報保護の整合性確保。
 - 国税庁の次世代システム導入に伴う電子化の推進と国・地方のシステム間連携の検討。

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/nouzeikankyo_kenkyukai/nouzeikankyo_gijihaihu/20231030shiryoy01.pdf

事業者の業務のデジタル化（概念図）

税務手続のデジタル化と併せて、経済取引や業務もデジタル化することにより、事業者が日頃行う事務処理の一貫したデジタル処理が可能となり、単純誤りの防止による正確性の向上や事務の効率化による生産性の向上等といったメリットを享受できるものと考えられます。



（その他事業者のデジタル化促進のための施策）
 ・マイページで自己情報の確認、タックスアンサー、チャットボット、年末調整の電子化、マイナンバーカード取得促進

財務諸表の勘定科目コード表(国税庁)

https://www.e-tax.nta.go.jp/hojin/gimuka/csv_jyoho4_zaihyo_taishaku_02.htm



財務諸表(貸借対照表)の勘定科目コード表及び標準フォーム

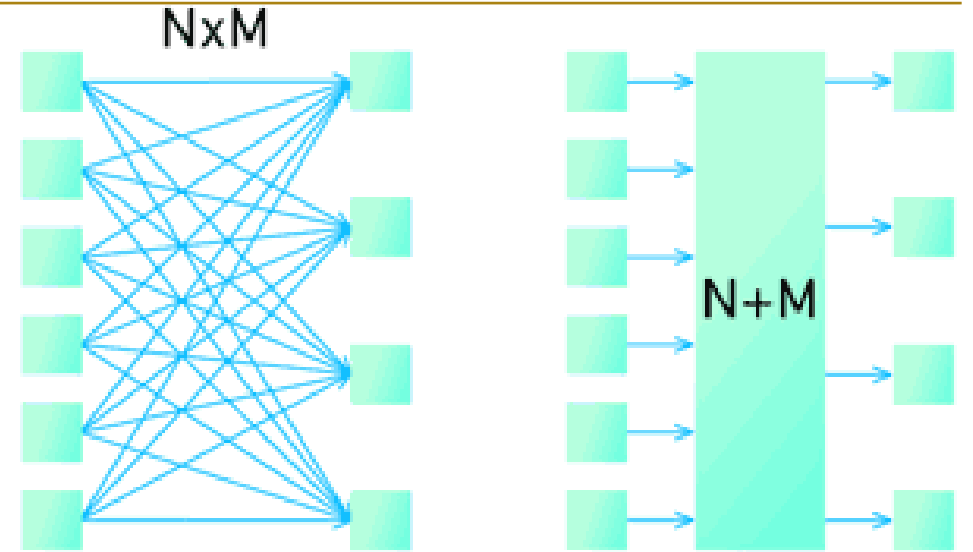
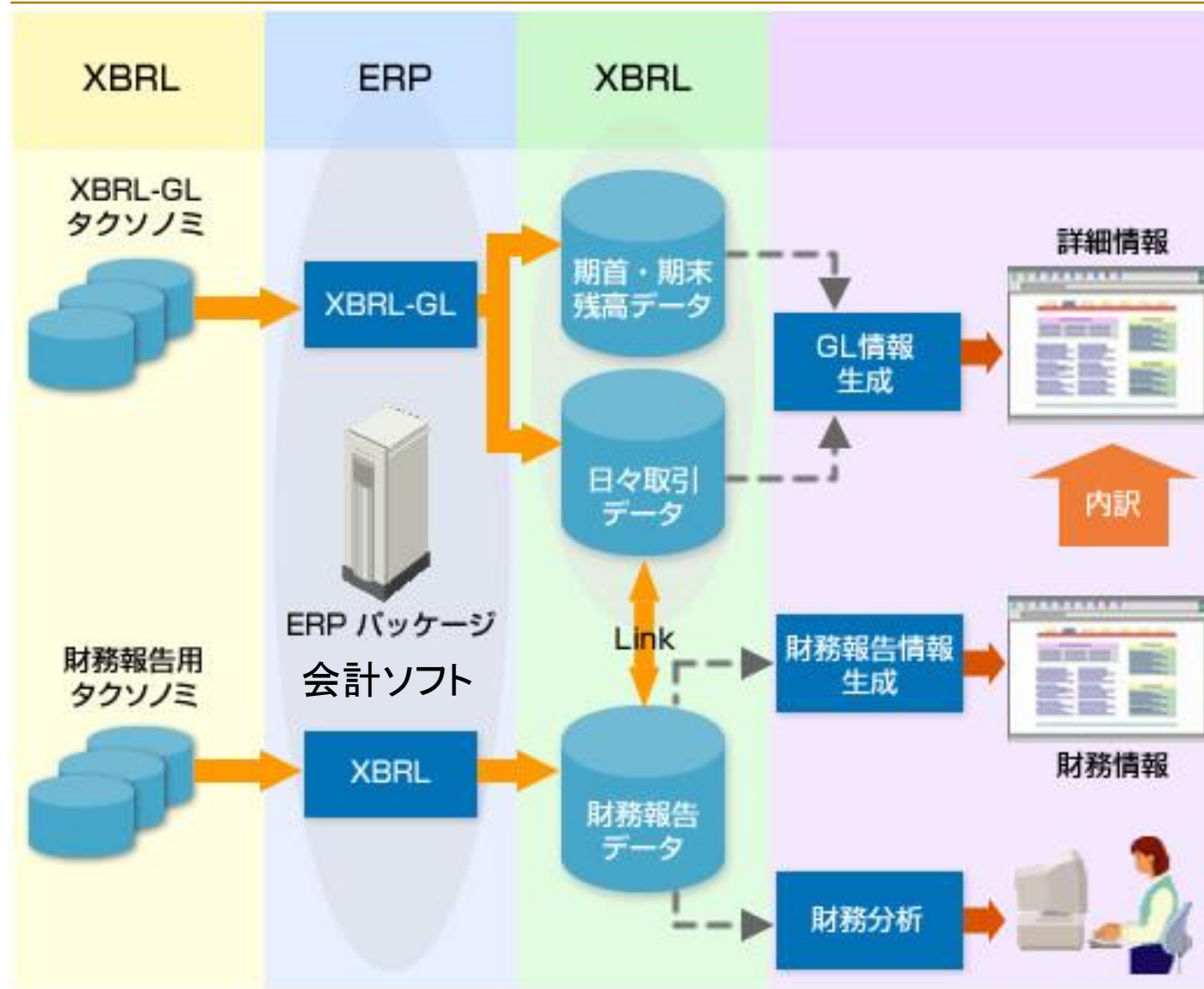
(令和2年4月1日以後提出分)

1. 一般商工業
2. 建設業
3. 銀行・信託業
4. 銀行・信託業(特定取引勘定設置銀行)
5. 建設保証業
6. 第一種金融商品取引業
7. 生命保険業
8. 損害保険業
9. 鉄道事業
10. 海運事業
11. 高速道路事業
12. 電気通信事業
13. 電気事業
14. ガス事業
15. 資産流動化業
16. 投資運用業
17. 投資業
18. 特定金融業
19. 社会医療法人
20. 学校法人
21. 商品先物取引業
22. リース事業
23. 投資信託受益証券

項番	業種	勘定科目コード表	標準フォーム	設定
	全体版	EXCEL	-	-
1	一般商工業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
2	建設業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
3	銀行・信託業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
4	銀行・信託業(特定取引勘定設置銀行)	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
5	建設保証業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
6	第一種金融商品取引業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0
7	生命保険業	EXCEL	EXCEL	HOT010_3.0

A	B	C	D	E	F	P	Q	R	S	T	
1	貸借対照表	勘定科目コード表(2019年版)									
2	0	1	2	3	4	5	15	16	17	18	
3	業種	標準フォーム	標準ラベル(日本語)	冗長ラベル(日本語)	標準ラベル(英語)	冗長ラベル(英語)	depth	タイトル項目	合計(用途別)	勘定科目区分	勘定科目コード
4	一般商工業	-	貸借対照表	貸借対照表 [タイトル項目]	Balance sheet	Balance sheet (abstract)	0	○		-	-
5	一般商工業	A	貸借対照表	貸借対照表 [表]	Balance sheet	Balance sheet table	1			-	-
6	一般商工業	A	貸借対照表	貸借対照表 [表示項目]	Balance sheet	Balance sheet (for items)	1			-	-
7	一般商工業	A	資産の部	資産の部 [タイトル項目]	Assets	Assets (abstract)	2	○		資産	10A000010
8	一般商工業	A	流動資産	流動資産 [タイトル項目]	Current assets	Current assets (abstract)	3	○		流動資産	10A100010
9	一般商工業	A	現金及び預金	現金及び預金	Cash and deposits	Cash and deposits	4			流動資産	10A100020
10	一般商工業	A	受取手形及び売掛金	受取手形及び売掛金	Receivables and trade	Receivables and trade	4			流動資産	10A100030
11	一般商工業	A	貸倒引当金	貸倒引当金	Provision for doubtful accounts	Provision for doubtful accounts	5			流動資産	10A100040
12	一般商工業	A	受取手形及び売掛金(純額)	受取手形及び売掛金(純額)	Receivables and trade net	Receivables and trade net	5			流動資産	10A100050
13	一般商工業	A	受取手形	受取手形	Receivables - trade	Receivables - trade	4			流動資産	10A100060
14	一般商工業	A	貸倒引当金	貸倒引当金	Provision for doubtful accounts	Provision for doubtful accounts	5			流動資産	10A100070
15	一般商工業	A	受取手形(純額)	受取手形(純額)	Receivables - trade net	Receivables - trade net	5			流動資産	10A100080
16	一般商工業	A	売掛金	売掛金	Accounts receivable	Accounts receivable	4			流動資産	10A100090
17	一般商工業	A	貸倒引当金	貸倒引当金	Provision for doubtful accounts	Provision for doubtful accounts	5			流動資産	10A100100
18	一般商工業	A	売掛金(純額)	売掛金(純額)	Accounts receivable net	Accounts receivable net	5			流動資産	10A100110
19	一般商工業	B	関係会社売掛金	関係会社売掛金	Receivables - related	Receivables - related	4			流動資産	10A100120
20	一般商工業	A	割賦売掛金	割賦売掛金	Receivables - installment	Receivables - installment	4			流動資産	10A100130
21	一般商工業	B	開発事業未収入金	開発事業未収入金	Receivables - R&D	Receivables - R&D	4			流動資産	10A100140
22	一般商工業	B	不動産事業未収入金	不動産事業未収入金	Receivables - real estate	Receivables - real estate	4			流動資産	10A100150
23	一般商工業	B	完成業務未収入金	完成業務未収入金	Receivables - completed	Receivables - completed	4			流動資産	10A100160
24	一般商工業	B	加盟店貸勘定	加盟店貸勘定	Receivables - franchise	Receivables - franchise	4			流動資産	10A100170
25	一般商工業	B	受取手形及び営業未収入金	受取手形及び営業未収入金	Receivables and trade net	Receivables and trade net	4			流動資産	10A100180
26	一般商工業	B	営業未収入金	営業未収入金	Trade accounts receivable	Trade accounts receivable	4			流動資産	10A100190
27	一般商工業	R	電子記録債権	電子記録債権	Electronic records receivable	Electronic records receivable	4			流動資産	10A100200

XBRL GLと財務報告の連携利用



外部報告用の科目を、XBRL GLの集計先として定義した場合、計算書類に記載する科目の数値がどのGLデータから集計されるか分かります。こうして対応関係を用途別に定義することで、多様な財務報告の数値それぞれが、どのような内訳から構成されているのか参照出来るようになります。

XBRL GLは、XBRL仕様に基づいており、項目間の関係を含めた詳細な企業取引情報をタクソノミ文書とインスタンス文書で表現できます。内部報告における標準的なデータ仕様を提供しており、多様な業務システムの情報を共通の表現に変換することが可能となります。

こうすることで、データ源とその利用アプリケーションを個別に連携させる従来の複雑なNxMの対応関係を単純なN+Mの関係に変更することが可能です。

出典：XBRL Japanホームページ [XBRL GLと財務報告の連携](#)



内部報告向けXBRLの活用

構造化CSVとXBRLタクソノミを活用することで、データの利便性を向上させます。

また、データの意味内容を明確化するだけでなく、多言語対応の表現形式を提供し、ソフトウェアと人間の両方に活用可能な技術基盤を実現します。これにより、内部報告や分析作業の効率化を図り、グローバルな企業活動にも対応可能なデータ連携環境を構築します。

出典：XBRL Japanホームページ [XBRL GLとは](#)

→ 全編
知らなかった！こんなに便利なXBRL GL (11:10)

→ 第一部
税理士事務所を悩ませる「互換性」問題 (2:41)

→ 第二部
平成35年 経理事務クライシスとは？ (2:00)

→ 第三部
秘密兵器 XBRL GL！ (4:11)

→ 第四部
顧客満足と業務効率アップの両立へ (2:30)

XBRL GLについて紹介したアニメーションです。

このアニメーションは4部構成となっており、全体で約11分です。全編と分割編がございますので、ご都合に合わせて左のボタンからご覧ください。



今後

新しい課題と将来的な展望

データ連携基盤の設計と運用において、利用者識別や認証における信頼性確保が主要な課題です。

これに加え、業界横断的な標準規格のさらなる統一と、政府主導の支援体制の整備が求められます。

将来的には、より高度な自動化やAIの活用によるデータ分析・活用の幅を広げることも視野に入ります。

データ連携基盤（経済産業省 ウラノス エコシステム）

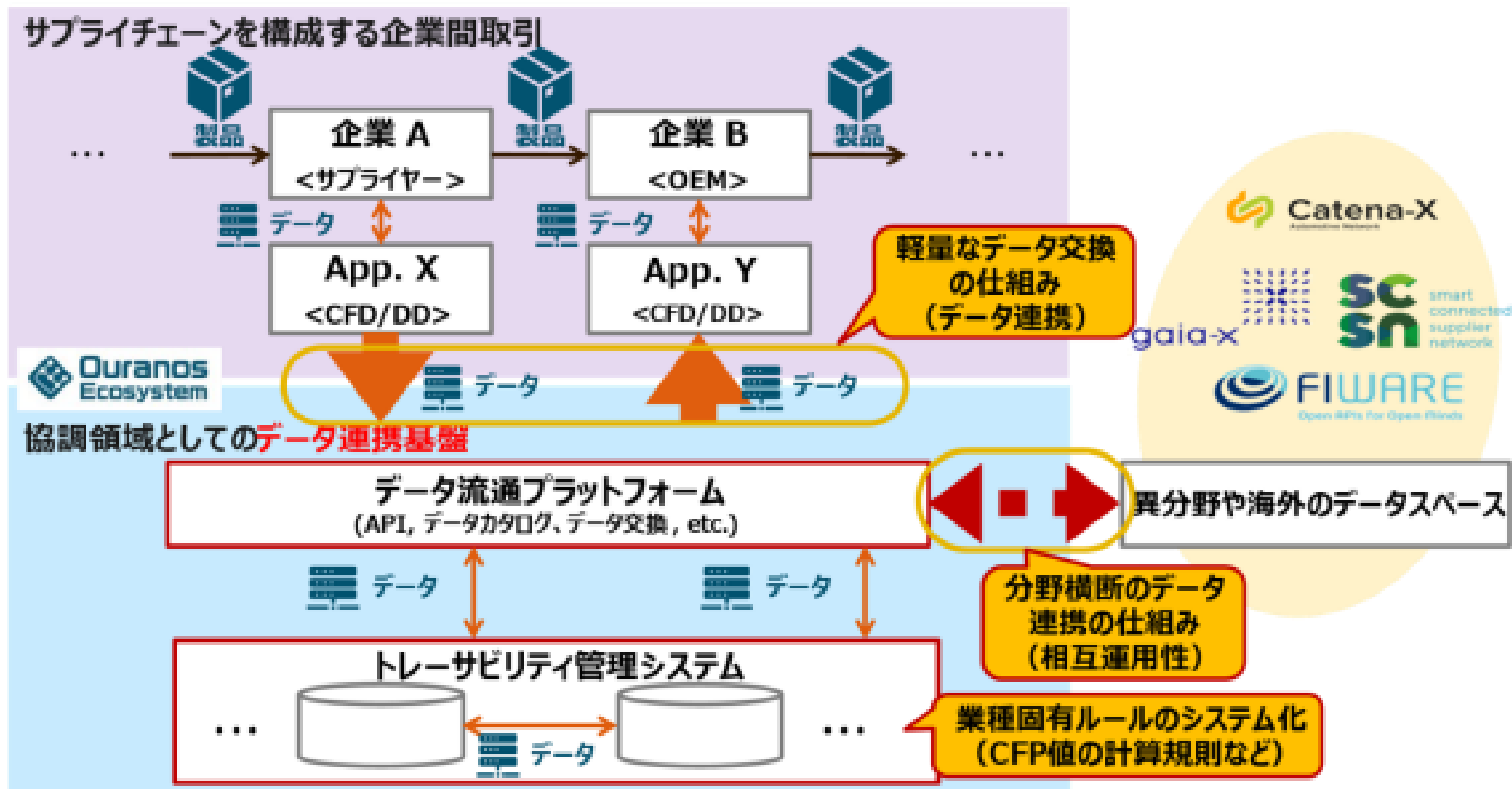


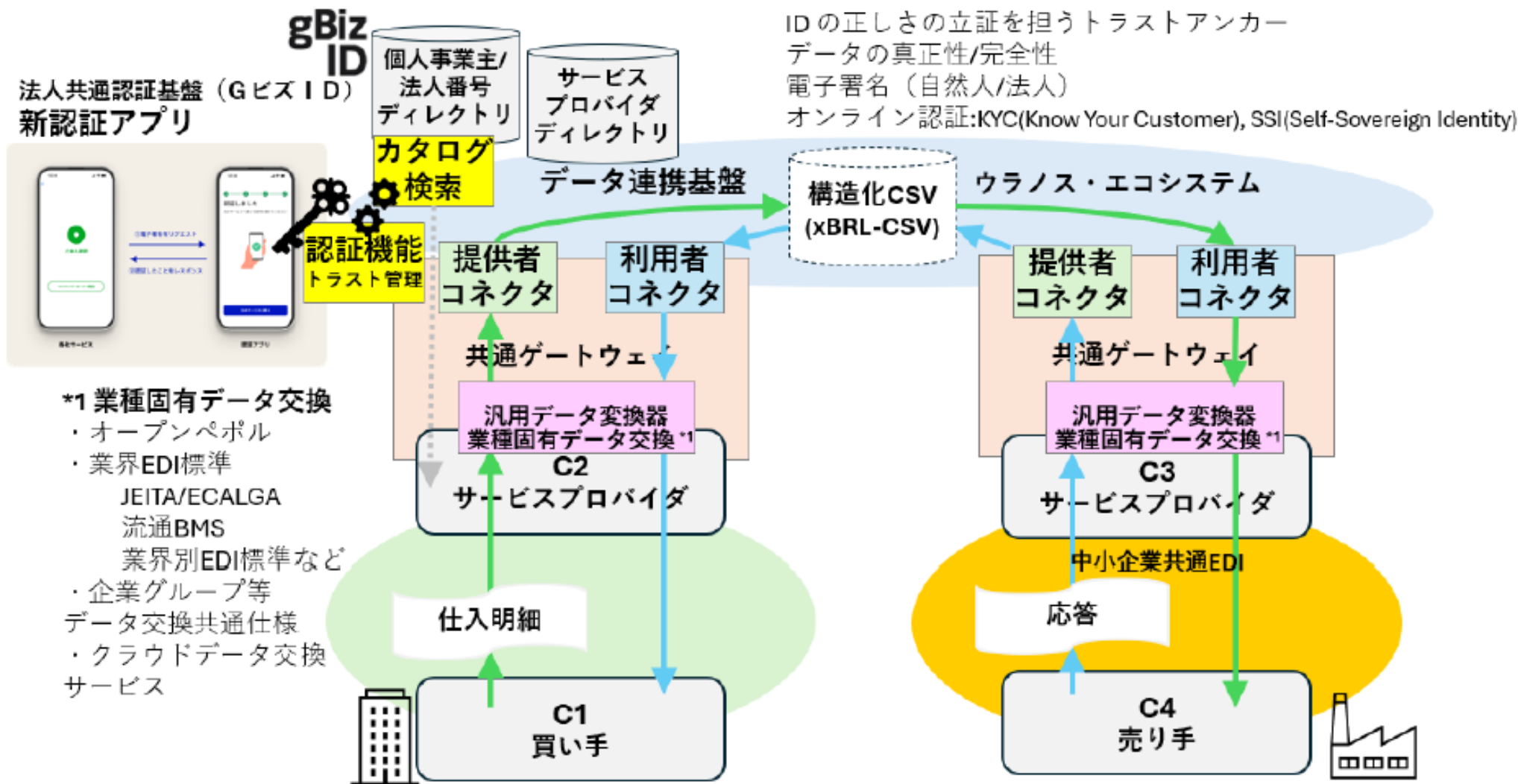
図 6 データ連携基盤を介した海外との連携

出典: データ連携のためのモデル規約 解説と論点整理第 1 版(令和 6 年6月)経済産業省
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/moderukiyakukaisetu.pdf

データ連携基盤におけるセキュリティサービスの必要性

データ連携基盤の利用者(個人/法人)のa) 識別子情報の発行と、その識別子を検証するためのb) 秘密鍵の発行など、セキュリティサービスが必須となります。

これらのサービスは、政府が国民サービスとして提供する形が望ましいと考えます。



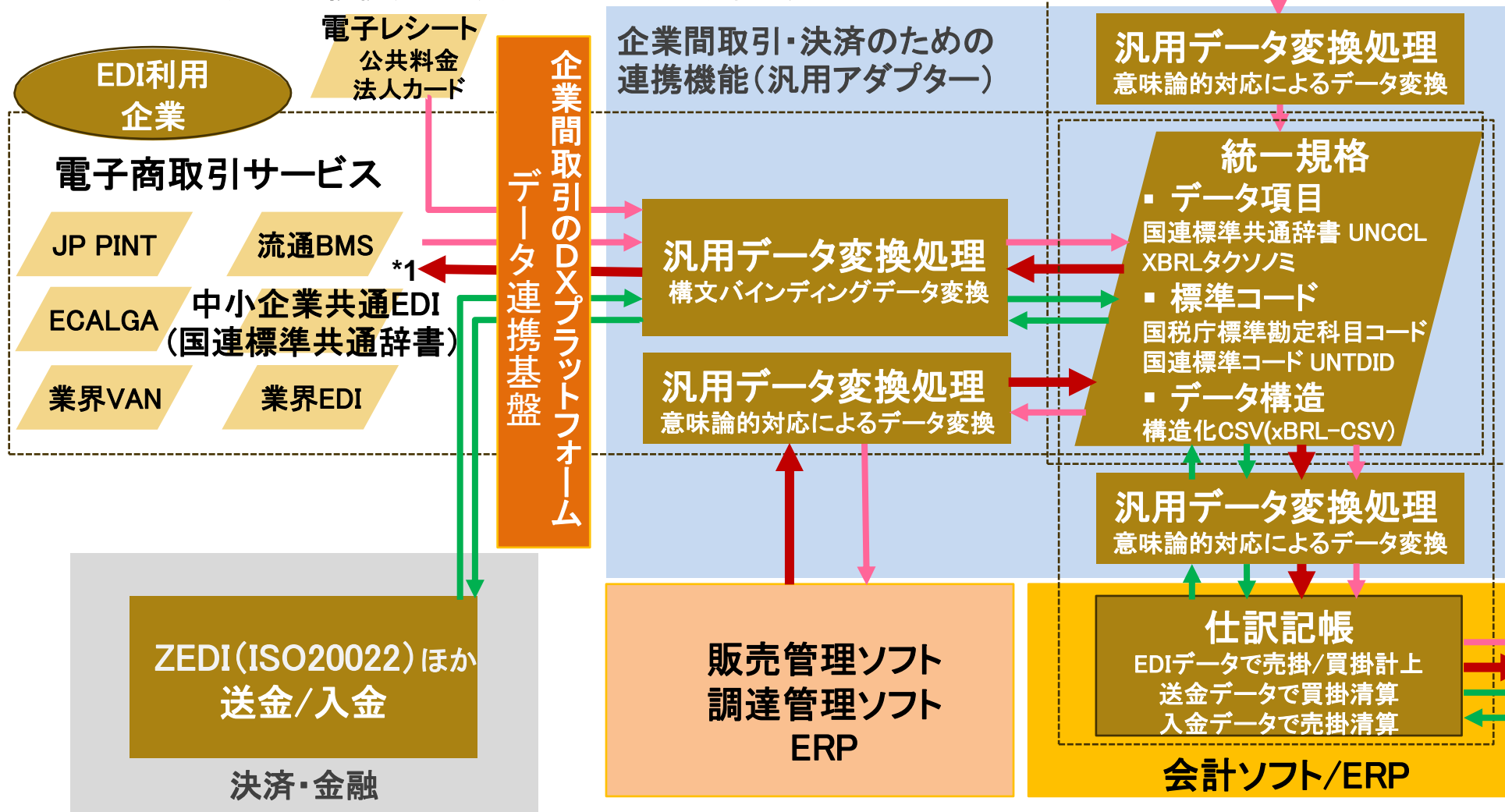
- *1 業種固有データ交換
- ・オープンポル
 - ・業界EDI標準
 - JEITA/ECALGA
 - 流通BMS
 - 業界別EDI標準など
 - ・企業グループ等
 - データ交換共通仕様
 - ・クラウドデータ交換サービス

決済・金融データ連携の全体像

企業間取引・決済における業界標準システムと金融システム連携の全体像

*1中小企業が取引先ごとに異なる多種多様なEDIや決済サービスに個別対応する必要がなく、データ連携基盤に接続するだけで対応できる世界。

(例: 中小企業共通EDIに接続すれば流通BMSから仕入明細が受け取れる)



【凡例】

- ← *1EDIへのデータ
- EDIからのデータ
- 金融データ

企業間取引・決済における業界標準システムと金融システムの連携を構築することで、導入済みの既存システムを活用しつつ、必要な情報の自動収集・処理を実現します。

これにより、法令対応に伴う個別システムの改修費用の削減、取引先との債権債務残高の一致確認作業の効率化、さらには社内他部署との情報連携にかかる人手や時間の削減を目指します。

サイロ化された業務システムと会計ソフト、金融システムの連携を統一規格で構築し、事業者間取引・決済における課題の解決を目指します。

人手のかかる会計処理
清算金額不一致(違算)の処理
請求書鑑データ
追加請求・返金

会計データ検証ソフト

会計帳簿

仕訳帳

表示 対象月: 2021-04 選択解除

伝行	取引日	仕訳	摘要文	借方科目	借方金額	借方税区分	借方消	貸方科目	貸方金額
1	2021-04-01	18	旅費	旅費及び交通費	19,500	標準10%	1772	現金及び預金	19,500
2	2021-04-01	246	旅費	旅費及び交通費	10,000	標準10%	909	現金及び預金	10,000
3	2021-04-02	19	旅費	旅費及び交通費	11,000	標準10%	1000	現金及び預金	11,000
4	2021-04-02	68	トイレトパー他	雑費	2,970	標準10%	270	現金及び預金	2,970
5	2021-04-02	122	証明書発行手数料	通信費	1,050	標準10%	95	現金及び預金	1,050
6	2021-04-02	142	高速代	車両費	2,458	標準10%	223	現金及び預金	13,384
6	2021-04-02	142	駐車代	車両費	591	標準10%	53		
6	2021-04-02	142	ガソリン代	車両費	4,620	標準10%	420		
6	2021-04-02	142	洗濯券代	車両費	5,715	標準10%	519		
7	2021-04-03	41	締増社会費	交際費	12,000	標準10%	1090	現金及び預金	12,000
8	2021-04-03	134	用紙	事務用消耗品費	15,600	標準10%	1418	現金及び預金	15,600
9	2021-04-04	310	ガソリン代	車両費	6,486	標準10%	589	現金及び預金	17,401
9	2021-04-04	310	高速代	車両費	9,715	標準10%	883		
9	2021-04-04	310	駐車代	車両費	1,200	標準10%	109		

会計帳簿

総勘定元帳

表示 対象月: 2021-04 選択解除

日付	摘要	借方金額	貸方金額	残高	相手科目コード	相手科目名	補助科	補
2021-04-01	* 月初残高			8,130,812,723				
2021-04-05	4月5日 依票No190株式会社 渡辺産業		2,959,035	8,127,853,688	10A100020	現金及び預金	22	借
2021-04-05	4月5日 依票No190株式会社 渡辺産業	630		8,127,853,058	10E200690	支払手数料	22	借
2021-04-05	4月5日 依票No191佐々木販売株式会社	1,508,295		8,126,344,763	10A100020	現金及び預金	26	借
2021-04-05	4月5日 依票No191佐々木販売株式会社	472		8,126,344,291	10E200690	支払手数料	26	借
2021-04-05	4月5日 依票No192岩下物産株式会社	2,171,384		8,124,172,907	10A100020	現金及び預金	27	借
2021-04-05	4月5日 依票No192岩下物産株式会社	735		8,124,172,172	10E200690	支払手数料	27	借
2021-04-10	4月10日 依票No193株式会社 ミナミ	1,428,451		8,122,743,721	10A100020	現金及び預金	19	借

会計帳簿

残高試算表

表示 対象月: 2021-04 選択解除

日付	勘定科目	科目名	勘定科目区分	開始残高	借方金額	貸方
2021-04	10A100020	現金及び預金	流動資産	73,659,897	122,180,406	113,030,897
2021-04	10A100060	受取手形	流動資産	77,631,436	39,689,677	24,941,759
2021-04	10A100090	売掛金	流動資産	8,130,812,723	60,337,616	98,984,109
2021-04	10A100610	短期貸付金	流動資産	480,000		
2021-04	10A230570	保険積立金	投資その他の資産	1,528,000	125,000	
2021-04	10B100030	支払手形	流動負債	52,251,735	24,104,558	28,147,177
2021-04	10B100040	買掛金	流動負債	264,051,101	52,131,298	35,982,399
2021-04	10B100630	未払金	流動負債	57,584,692	7,584,692	
2021-04	10B100690	預り金	流動負債	2,309,575	1,426,819	882,756
2021-04	10B100790	短期借入金	流動負債	7,842,000	653,500	
2021-04	10D100101	電子取引売上高	売上高			15,000,000
2021-04	10D100102	電子取引以外売上高	売上高			4,000,000
2021-04	10D100110	売上値引及び戻り高	売上高			167,936
2021-04	10E100120	仕入値引及び戻し高	売上原価			
2021-04	10E100130	当期商品仕入高	売上原価			35,491,682
2021-04	10E200020	販売手数料	販売費及び一般管理費			2,266,000

統一規格(標準会計データ項目,統一コード,構造化CSV)を用いた
会計データ検証ソフト(オープンソース Python)

会計帳簿

損益計算書

表示

レバ	勘定科目番号	勘定科目名	勘定科目区分	借方	貸方	金額
1	10D100010	営業活動による収益	売上高	1,267,444	852,595,939	851,328,495
2	10D100090	営業活動による収益の内訳	売上高	1,267,444	852,595,939	851,328,495
3	10D100101	電子取引売上高	売上高		250,215,331	250,215,331
3	10D100102	電子取引以外売上高	売上高		602,380,608	602,380,608
3	10D100110	売上値引及び戻り高	売上高	1,267,444		1,267,444
1	10E100010	営業活動による費用・売上原価	売上原価	576,397,673	63,801,969	512,595,704
2	10E100080	営業活動による費用・売上原価の内訳	売上原価	576,397,673	63,801,969	512,595,704
3	10E100090	商品売上原価	売上			
4	10E100100	商品期首たな卸高	売上			
4	10E100120	仕入値引及び戻し高	売上			
4	10E100130	当期商品仕入高	売上			
4	10E100140	商品期末たな卸高	売上			
1	10E200010	販売費及び一般管理費	販売			
2	10E200020	販売手数料	販売			
2	10E200050	広告宣伝費	販売			
2	10E200090	役員報酬	販売			
2	10E200130	賞与	販売			
2	10E200140	福利厚生費	販売			
2	10E200150	交際費	販売			
2	10E200180	通信費	販売			
2	10E200200	消耗品費	販売			

会計帳簿

貸借対照表

表示

順レバ	勘定科目番号	勘定科目名	勘定科目区分	期首残高	借方	貸方	期末残高	
2	1	10A000010	資産の部	資産	11,239,574,656	2,585,608,480	2,568,926,626	11,222,892,802
3	2	10A100010	流動資産	流動資産	8,282,584,056	2,584,108,480	2,566,686,702	8,265,162,278
4	3	10A100020	現金及び預金	流動資産	73,659,897	1,304,847,002	1,268,415,220	110,091,679
8	3	10A100060	受取手形	流動資産	77,631,436	426,025,539	392,166,316	111,490,659
						905,425,166	8,077,983,496	
							40,000	
						680,000	560,000	



Views: 0

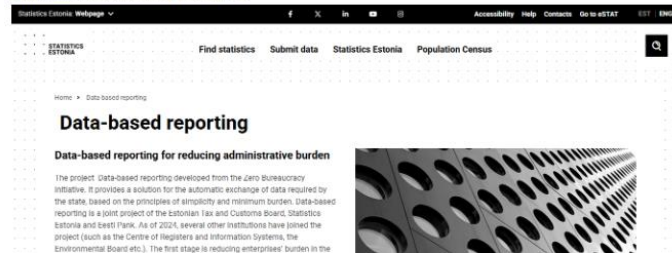
Data-based reportingとReal-time Economy: 日本におけるデータ連携基盤への提言

エストニアが推進する「Data-based reporting」と「Real-time Economy (RTE)」は、デジタル時代における効率的で負担の少ないデータ連携の実現を目指したモデルケースです。本記事では、これらの取り組みを整理し、日本におけるデータ連携基盤の在り方について提言します。

1. Data-based reportingとは

Data-based reportingは、企業の報告負担を軽減し、国家が必要とするデータの自動交換を目指すプロジェクトです。

<https://stat.ee/en/reporting-30>



エストニアの「Data-based reporting」と「Real-time Economy (RTE)」は、データ連携の効率化と負担軽減を目指す先進的なモデルです。本記事では、これらの概要と日本への応用可能性を提言しています。リアルタイムのデータ処理、自動化、標準化された情報交換基盤（例：X-Road）を導入することで、行政手続きや税務報告の効率を向上させ、透明性を高める方法を具体的に示しています。

<https://www.sambuichi.jp/?p=14262>





<https://realtimeeconomy-bsr.eu/reporting-model-and-roadmap>



The purpose and main activities of the project: Mapping the reporting obligation established by Estonian state agencies, describing a new XBRL GL-based reporting model, drawing up a roadmap for the transfer to the model, and analysing the reporting on the fuel and packaging used with the aim of transferring this reporting to the new reporting model.

In order to achieve the result of the work, an online survey was conducted to map the reporting obligations of all state agencies. The results of the survey concerning the reporting obligation were also specified by a document analysis, which involved analysing more than 800 acts of law and regulations. Based on the vision of real-time economy and the results of the mapping of the reporting obligation, a new reporting model was described. The model mainly differs from the current method of submitting reports by the data-based nature of the reporting, the standardised form of describing the reporting data, and the machine-readability of the taxonomies of the reports.

The roadmap created in the course of the project provides a general overview of which operations must be performed to introduce the new model. In addition to creating the reporting model and roadmap, the work also involved describing the datasets of the fuel consumption reporting and packaging reporting, as well as the current functioning of these types of reporting and the work model suggested for the future.



構造化CSVと統一規格による中小企業のデジタル化

<https://www.sambuichi.jp/?p=10499>

外部の情報元

- ペポル JP PINT
- 中小企業共通EDI
- 業界EDI
- 電子レシート
- デジタルバンキング
- その他



経理
外部報告 (決算/納税)



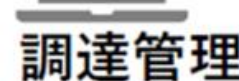
取引先向け情報提供



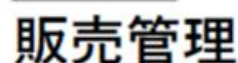
入出金管理



在庫管理



調達管理



販売管理

このスライドは、中小企業のデジタル化を目的に、構造化データ標準(XBRL-CSVなど)を活用した業務効率化の枠組みを示しています。ペポルJP PINTや業界EDI、電子レシート、デジタルバンキングなどの外部情報源と、販売管理、調達管理、在庫管理、入出金管理などの内部システムを統合し、情報の円滑なやり取りを可能にします。これにより、税務や決算などの外部報告が効率化されるとともに、業務全体の生産性向上を目指しています。本構想は、フィンランドのTARTIOプロジェクトに触発されたものです。

Nobuyuki SAMBUICHI